証券コード:4971
メック株式会社

MEXTAGE

第53期 株主通信

2021年1月1日から2021年12月31日まで

経営理念

わたしたちは「独創の技術」「信頼の品質」「万全のサービス」を信条に、自由に着想し、グローバルな事業活動を通して界面価値創造を実現することで豊かで潤いのある社会と環境づくりに貢献します。

P.1 2021年度の業績振り返りと今後の事業戦略

P.3 2021年度の業績を教えてください

P.4 中期経営計画策定
オンライン会社説明会のご案内

P.5 財務指標

P.6 会社概要、株式の状況

界面価値創造

CREATING AND FOSTERING VALUE
AT VARIOUS INTERFACES

社長に聞く!

2021年度の業績振り返りと
今後の事業戦略

力強い半導体需要の高まりを受け、開発体制・グローバル供給網のさらなる拡充へ

DXへの投資、新生活様式への対応の進展でサーバー・パソコン・ディスプレイ需要が拡大

当期の世界・日本経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)の影響下でのサプライチェーンの混乱、米国のインフレ率上昇の他、地政学的リスク等の不透明な状況が続く一方、経済は先進国を中心に回復基調の動きも見られました。こうした状況下、在宅勤務・学習の導入やデジタルトランスフォーメーション(DX)への投資、新生活様式への対応が進展し、パソコンやディスプレイ生産が堅調に推移。データ量の増加や高速大容量の第5世代(5G)への切り替えを背景にサーバー需要も拡大し、プロセッサー、メモリー等も伸長しました。世界的な半導体不足が見られましたが、当社への影響は軽微でした。こうした全般的な半導体需要の高まりを受けて、最先端パッケージ基板の需要が拡大し、それらのメーカーで生産設備の投資が進んでおります。パッケージ基板向けに高いシェアを持つ当社は、これに対応すべく開発・製品供給体制の拡充を進めております。

主要製品の密着向上剤「CZシリーズ」続伸

デジタル化や5Gへの切り替えを背景に基地局やクラウドのサーバーや、パソコン、スマートフォン需要が増加した結果、これら製品に搭載されるパッケージ基板向けに高いシェアを持つ超粗化系密着向上剤「CZシリーズ」が引き続き伸長しました。

エッチング剤「EXEシリーズ」密着向上剤「V-Bondシリーズ」ともに堅調ディスプレイ向け「SFシリーズ」は減少

コロナ禍の在宅勤務の増加でディスプレイ需要が高まったこと等から、エッチング剤「EXEシリーズ」は堅調に推移しました。また、多層電子基板向けの密着向上剤「V-Bondシリーズ」も、一時半導体不足が顕在化した自動車市場が復調したことに加え、中国生産のスマートフォン向けの需要増で堅調に推移しました。タブレット端末やスマートフォンのディスプレイ向け「SFシリーズ」は、これら電子機器の需要に落ち着きがみられたことや半導体不足の影響もあって減少しました。

今後の研究開発方針について

注力している開発テーマは当社のコア技術「密着性向上」のさらなる追求です。銅表面の粗化により樹脂との高い密着性を実現する「CZシリーズ」はパッケージ基板のさらなる高密度化に対応するため超微粗化タイプの製品も市場に投入しています。また、その先を見据えた無粗化プロセス(化学密着)も開発中です。このほかの取り組みとしては、半導体製造の後工程において、当社が手がけていた技術領域以外の分野に踏み込んだ研究開発を進めています。これらのプロジェクトを推進するため、社内に開発テーマに即した専門部署を新設しました。

代表取締役社長
前田和夫

市場の見通しと投資計画について

今後の半導体市場は、DXの進展・脱炭素等の社会的動向を背景に、データ量増加や通信高速化が促進され、右肩上がりに成長していくと見込まれます。これに伴い半導体を搭載するパッケージ基板のさらなる需要増が想定されることから、CZシリーズをはじめ関連する当社製品の安定供給のため、国内における新たな生産拠点への設備投資の検討を始めております。これは「2030年ビジョン Phase1 中期経営計画」の重点取り組みの一つ「安定した調達、生産、供給体制の確立」の一環でもあり、調達先の多様化やグローバル供給網の拡充と合わせて戦略的に進めてまいります。

今後の見通しと配当政策

高まる半導体の需要を背景に、当社関連市場の拡大を想定しております。一方、来期は原材料費や輸送費の上昇、生産体制強化、人員拡充等を踏まえた利益計画としています。配当につきましては、従来どおり安定配当を基本に、連結配当性向30%を中期目標に考えています。来期配当については、景気の先行きに不透明感はありますが、1株当たり中間配当金20円、期末配当金20円の年間配当金40円を予定しています。

株主の皆様へのメッセージ

研究開発型企業である当社が最も重視しているのは、社会の課題解決並びに社会への貢献です。当社技術によって、増大する情報処理の負荷を下げ、電力消費量を低減させる。そうしたメリットのある製品を安定的に供給することでお客様に利益をもたらし、ひいては産業の発展に寄与する。そのために人財面の充実と生産設備増強を図り、成長し続ける会社であるためのビジネスモデル確立に努めてまいる所存です。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

詳細はホームページ掲載の決算短信をご覧ください。
www.mec-co.com/ir/library/

2021年度のポイント

押さえておきたい2021年度のポイントを2ポイントにまとめています。
ぜひ参考にしてください。

1 半導体需要の高まりで
過去最高の増収増益を更新

2 主力の「CZシリーズ」「EXEシリーズ」
「V-Bondシリーズ」売上が
2ケタ以上の伸び。

2021年度の実績

	2020年 12月期 2020年1月1日～2020年12月31日	2021年 12月期 2021年1月1日～2021年12月31日	増減
売上高 (百万円)	11,956	15,038	25.8% 増
営業利益 (百万円)	2,370	3,939	66.2% 増
経常利益 (百万円)	2,388	4,104	71.8% 増
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,595	2,949	84.8% 増
1株当たり当期純利益 (円)	84.09	155.28	

用語解説

■ **デジタルトランスフォーメーション (DX：Digital transformation)**
デジタル(IT)技術による生活やビジネスの変革

■ **5G**
第5世代移動通信システム(5th Generation)

業績推移と製品別・セグメント別販売動向について

Q 2021年度の事業環境と業績について教えてください

A サーバー・パソコン・ディスプレイ向け需要が拡大

当社グループの関係市場である電子基板・部品業界は、エレクトロニクス業界の影響を受けて、サーバーやパソコン、ディスプレイ向けの需要が堅調で、とりわけ当社と関連が深いパッケージ基板の需要が好調でした。電子基板の関連市場においては、移動通信システムで5Gへの切り替えの動きが活発化し、次世代データセンター用の高性能パッケージ基板向けの生産増強に向けた設備投資も進展しました。
このような環境のもと、当社グループでは高密度電子基板向け製品の開発、販売に注力いたしました。超粗化系密着向上剤「CZシリーズ」は強い半導体需要を背景に大きく増加。「EXEシリーズ」は高いディスプレイ需要で、「V-Bondシリーズ」は自動車市場復調の影響を受けて、ともに堅調に推移しました。ディスプレイ向け「SFシリーズ」は関連電子機器の需要が落ち着いた等の影響で減少しました。
その結果、当期の売上高は150億38百万円(前期比25.8%増)、営業利益は39億39百万円(同66.2%増)、売上高営業利益率は26.2%(同6.4ポイント増)、経常利益は41億4百万円(同71.8%増)、税金等調整前当期純利益は40億92百万円(同77.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は29億49百万円(同84.8%増)となりました。

Q 製品別の販売状況を教えてください

A CZ、EXE、V-Bondの売上は前期比2ケタの伸び

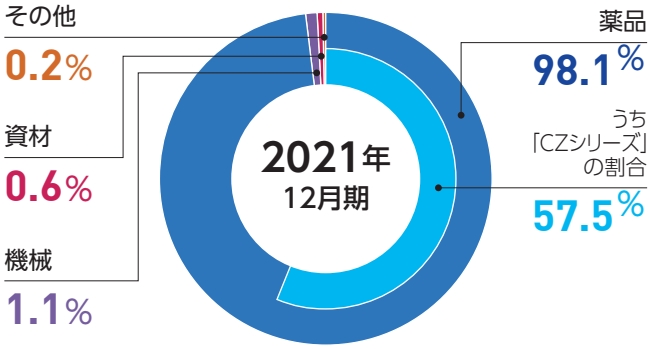
「CZシリーズ」の売上高は84億79百万円(前期比35.4%増)、薬品売上高に占める割合は57.5%(同3.5ポイント増)でした。「EXEシリーズ」は16億18百万円(同23.8%増)、「V-Bondシリーズ」は8億17百万円(同22.3%増)、「SFシリーズ」は10億60百万円(同2.8%減)でした。

Q 地域別の販売動向については?

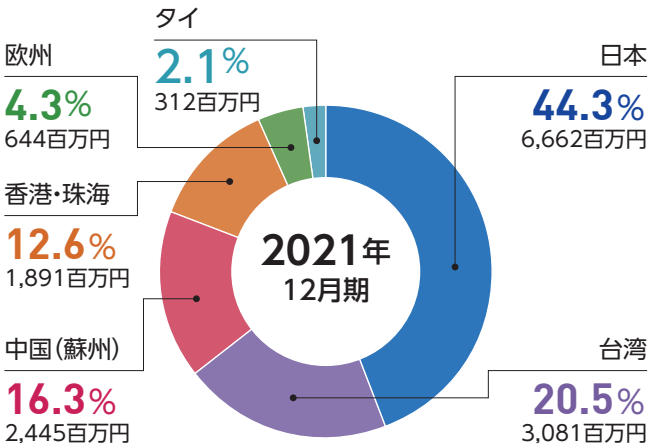
A 国内はじめ台湾・香港・中国ともに売上増

地域別売上高(連結)における海外売上高比率は57.5%(前期比4.2ポイント増)でした。国内は、サーバーやパソコン、ディスプレイ向け製品が、台湾もサーバー関連製品が引き続き好調。香港は自動車・スマートフォン向けに加えて、タブレット端末関連の製品生産が中国(蘇州)から移管されて伸長し、中国(蘇州)はサーバーやスマートフォン向けが好調に推移。欧州は感染症の影響が続く中、顧客の生産活動に持ち直しの傾向もみられ堅調でした。タイは、一部地域で感染症によるロックダウン等の影響はあったものの、営業活動や日本からの当社製品生産切り替えが進みました。

売上高に占める品目別割合 (%)



地域セグメント別売上高比率 (%) ／**売上高** (百万円)



PICK UP

2030年ビジョン Phase1 中期経営計画（2022年12月期～2024年12月期）を策定

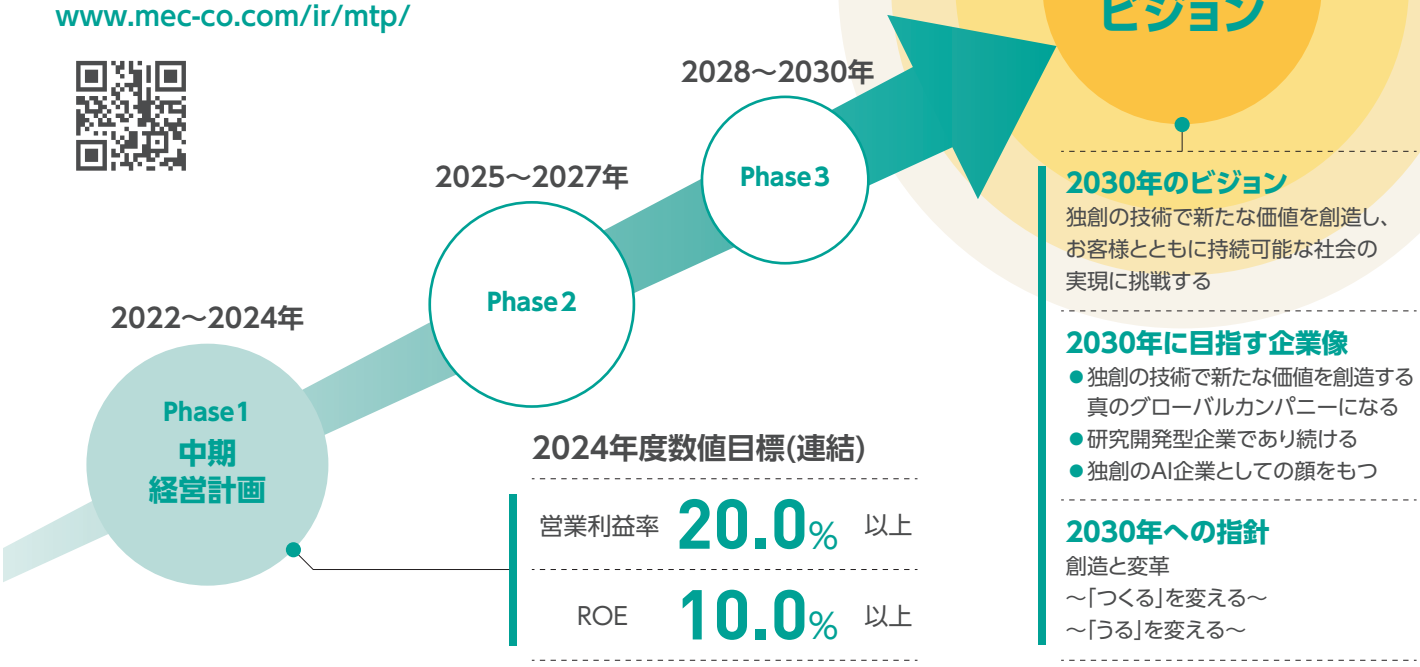
2030年に目指すべき企業像に向けて、持続的成長と企業価値の最大化を目指します。

当社は2022年12月期～2024年12月期を対象期間とする中期経営計画「2030年ビジョン Phase1」を策定しました。本計画は3ヵ年中期経営計画を3期かけて、持続的成長と企業価値の最大化を目指すものです。その中で2030年ビジョンを「独創の技術で新たな価値を創造し、お客様とともに持続可能な社会の実現に挑戦する」とし、2030年に目指すべき企業像「独創の技術で新たな価値を創造する真のグローバルカンパニーになる」「研究開発型企業であり続ける」「独創のAI企業としての顔を持つ」を掲げています。そして、これらを実現するための指針が「創造と変革～『つくる』を変える／～『うる』を変える」です。変わる、変えることを恐れずに“当たり前”を見直し、更新していくことで、価値ある製品を顧客に提供し、社会に貢献し続ける「真のグローバルカンパニー」を目指してまいります。

中期経営計画の位置づけ

より詳しいし資料はこちらからご覧いただけます。

www.mec-co.com/ir/mtp/



「オンライン会社説明会」動画ご視聴のご案内

当社をよりご理解いただくため、社長による会社説明会動画を掲載いたします。「現在の状況」や「今後の展望」等についてお話しておりますので、ぜひご視聴ください。

日　時／ 2022年4月11日(月)正午～5月31日(火)17時まで

参 加 費／ 無料（通信にかかる費用はご視聴者様のご負担となります。）

視聴方法／ パソコンやタブレット・スマートフォンから以下のウェブサイトへ接続してください。

パソコンから → www.net-presentations.com/4971/20220409faefiyvfua/

スマートフォンから → QRコード読み取り機能のついたスマートフォンをお使いの方は、右のQRコードからも視聴いただけます。

※ 録画配信（約1時間）です。

財務指標

詳細はホームページ掲載の決算短信をご覧ください。
www.mec-co.com/ir/library/

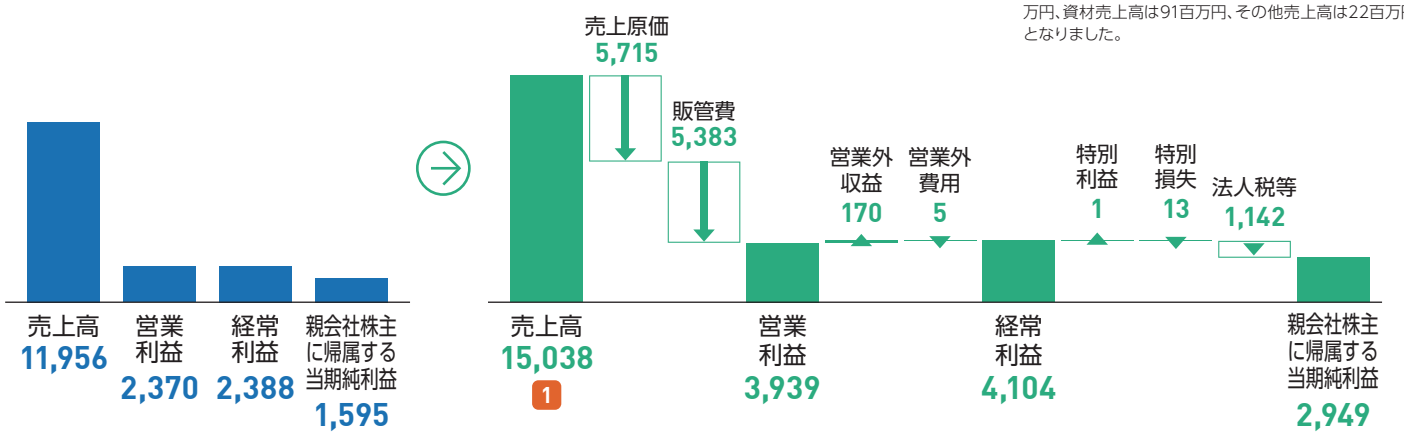
連結損益計算書の概要（百万円）

2020年12月期
（2020年1月1日～2020年12月31日）

2021年12月期
（2021年1月1日～2021年12月31日）

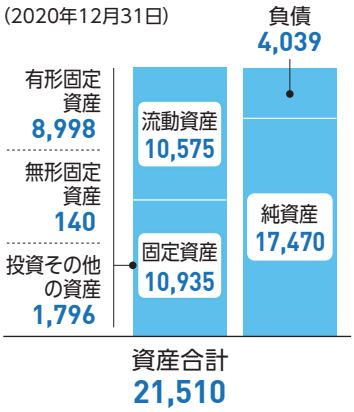
1 売上高

薬品売上高は147億56百万円、機械売上高は1億67百万円、資材売上高は91百万円、その他売上高は22百万円となりました。

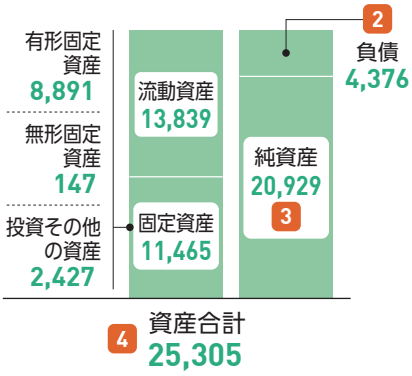


連結貸借対照表の概要（百万円）

前期末
（2020年12月31日）

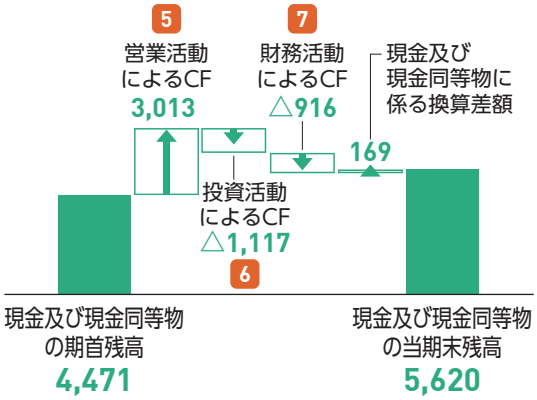


2021年12月期
（2021年12月31日）



連結キャッシュ・フロー計算書の概要（百万円）

2021年12月期
（2021年1月1日～2021年12月31日）



2 負債

負債は、売上増加に伴う仕入債務や未払法人税が増加したこと等により3億36百万円増加し、43億76百万円となりました。

3 純資産

純資産は、利益剰余金や円安による為替換算調整勘定が増加したこと等により34億58百万円増加し、209億29百万円となりました。

4 資産合計

資産は、現金及び預金や増収による売上債権の増加、時価上昇により投資有価証券が増加したこと等により37億94百万円増加し、253億5百万円となりました。

5 営業活動によるCF

営業活動の結果得られた資金は30億13百万円。これは主に税金等調整前当期純利益が40億92百万円、減価償却費が7億42百万円、売上債権の増加が9億14百万円、法人税等の支払額が8億8百万円あったこと等によるもの。

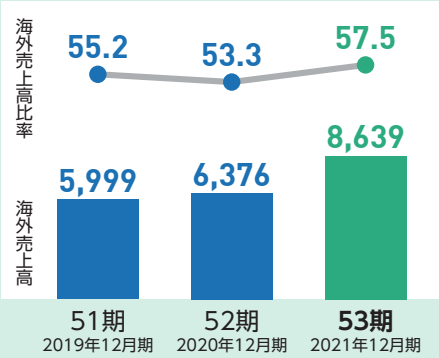
6 投資活動によるCF

投資活動の結果使用した資金は11億17百万円。これは主に定期預金の預入れが純額で2億59百万円、有形固定資産の取得による支出が6億66百万円あったこと等によるもの。

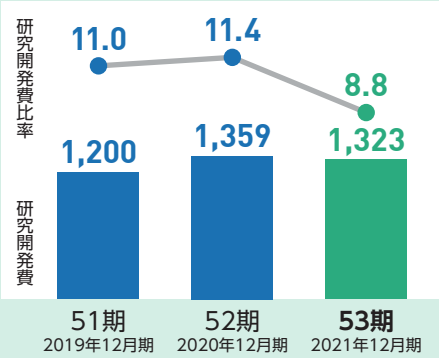
7 財務活動によるCF

財務活動の結果使用した資金は9億16百万円。これは主に短期借入金が純額で4億円減少、配当金の支払いが5億36百万円あったこと等によるもの。

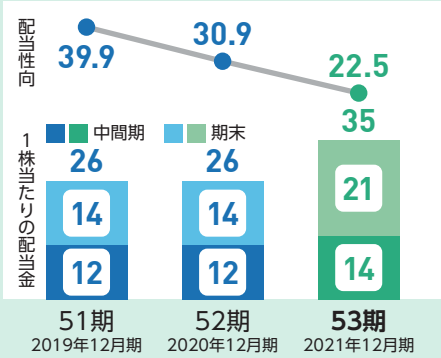
海外売上高（百万円）／比率（%）



研究開発費（百万円）／比率（%）



1株当たりの配当金（円）／配当性向（%）



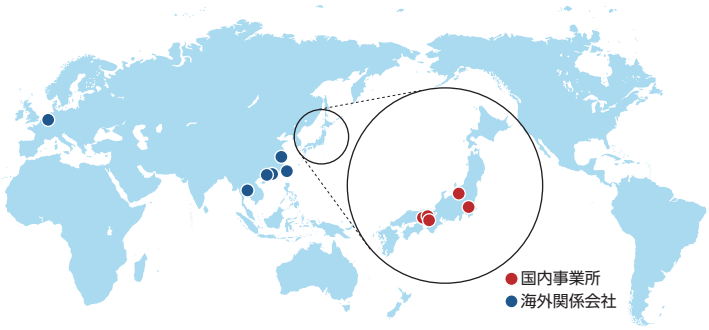
会社概要 ■ 2021年12月31日現在

■ 会社概要

商号	メック株式会社
本社事務所所在地	兵庫県尼崎市杭瀬南新町三丁目4番1号
設立年月日	1969年(昭和44年)5月1日
資本金	594,142,400円
事業内容	電子基板・部品製造用薬品の製造販売 および機械装置、各種資材の販売

■ 取締役および執行役員

代表取締役社長	前田 和夫
取締役常務執行役員	中川 登志子
取締役常務執行役員	住友 貞光
取締役 (社外)	北條 俊彦
取締役 監査等委員会委員長 (社外)	髙尾 光俊
取締役 監査等委員 (社外)	橋本 薫
取締役 監査等委員 (社外)	林　光雄
執行役員	中村 幸子
執行役員	武村 文夫
執行役員	門林 安津子
執行役員	高垣 秀一



■ 国内事業所

本社・尼崎工場
〒660-0822 兵庫県尼崎市杭瀬南新町三丁目4番1号

東京営業所
〒190-0003 東京都立川市栄町六丁目1番1号 立飛ビル7号館7階

長岡工場
〒940-2045 新潟県長岡市西陵町221番地36

西宮工場
〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜二丁目1番19号

東初島研究所
〒660-0832 兵庫県尼崎市東初島町1番地

■ 海外拠点

MEC TAIWAN COMPANY LTD.
No.3, Ziqiang 6th Rd., Zhongli Dist., Taoyuan City 32063, Taiwan (R.O.C.)

MEC EUROPE NV.
Kaleweg 24-26, B-9030 Gent, Belgium

MEC (HONG KONG) LTD.
No.8, 12/F., Tower 3 China Hong Kong City, 33 Canton Road, Tsimshatsui, Kowloon, Hong Kong

MEC FINE CHEMICAL (ZHUHAI) LTD.
530 An Ji East Road, Sanzao Town, Jinwan Qu, Zhuhai City, Guang Dong 519040, China

MEC CHINA SPECIALTY PRODUCTS (SUZHOU) CO., LTD
31 Linjiang Road, Suzhou Industrial Park, Jiangsu 215121,China

MEC SPECIALTY CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.
31 Moo 1 Rojana Industrial Park T. Banchang, A. Uthai, Ayutthaya 13210.

株式の状況 ■ 2021年12月31日現在

■ 株主状況

発行済株式総数	20,071,093 株
株主数	9,293 名

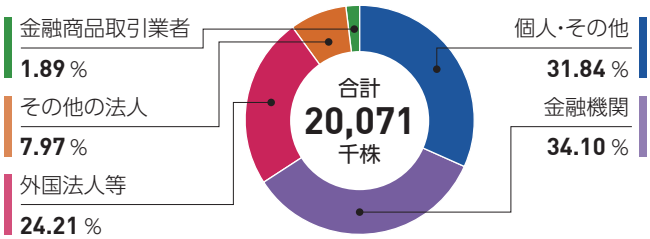
■ 大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	所有株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,813	14.67
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,082	10.85
株式会社マエダホールディングス	1,199	6.25
前田和夫	726	3.79
メック取引先持株会	575	3.00
野村信託銀行株式会社（投信口）	558	2.91
前田耕作	555	2.89
住友生命保険相互会社	531	2.77
JP MORGAN CHASE BANK 380646	420	2.19
GOVERNMENT OF NORWAY	319	1.66

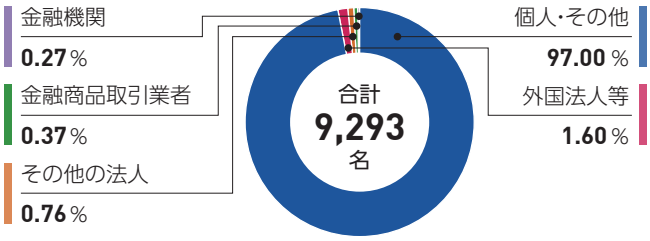
※当社は自己株式を895千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
※持株比率は、自己株式を除く発行済株式の総数に対する比率です。

■ 株式分布状況

所有者別所有株式数



所有者別株主数



※「個人・その他」には自己株式895千株を含んでおります。
※比率は小数点以下第3位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

メック株式会社
本社事務所／〒660-0822 兵庫県尼崎市杭瀬南新町三丁目4番1号
TEL. 06-6401-8160　FAX. 06-6401-8165
URL　www.mec-co.com/

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

1. 証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
2. 証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先※までご連絡ください。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
期末配当金受領株主確定日	毎年12月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年6月30日
定時株主総会	毎年3月
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株式名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先※	TEL. 0120-782-031（通話料無料） 受付時間　9：00～17：00（土日休日を除く）
インターネットホームページURL	www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	4971
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL　www.mec-co.com/ir/denshi/ （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

■ 株主優待情報

保有株式数	優待内容
1,000株未満	QUOカード 1,000円分
1,000株以上	QUOカード 2,000円分

＊毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株（1単元）以上保有の株主様を対象といたします。

ニュースメール配信サービスのご案内

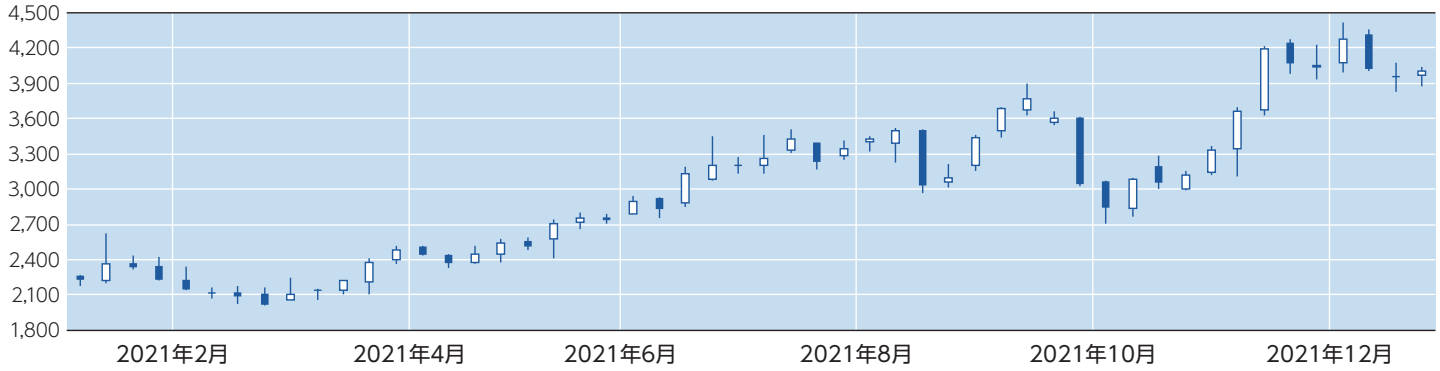
当社では、ホームページにニュースリリースや新しいコンテンツが掲載された際に、ご登録者の皆様にそのタイトルとURLを電子メールにてお知らせするサービス（ニュースメール配信サービス）を行っています。
ご希望の株主様には、こちらのサービスの送信先メールアドレス（携帯電話のメールアドレス不可）を、当社ホームページまたは、RIMSNET（rims.tr.mufg.jp/）から、簡単にご登録いただけます（無料）。

アンケートのお願い

当社では、株主の皆様とのよりよいコミュニケーションを目指し、今後も業績情報の開示の充実に努めていきたいと考えています。
つきましては、この株主通信に対するご意見、ご感想をお聞かせいただきたくアンケートにご協力をお願いいたします。
※ご提供いただきました情報は、本アンケートの集計の目的以外に使用することはございません。

ホームページのご紹介　www.mec-co.com/

当社のホームページでは
プレスリリース、株主通信、コーポレート・ガバナンス報告書　他
各種情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

株価の推移（2021年1月～2021年12月）

（単位：円）